

第2章 秘書室

1 鹿沼市功労者表彰式

- (1) 期 日 令和5年5月19日(金)
(2) 場 所 鹿沼市民文化センター小ホール
(3) 受賞者

功労者49名、篤志者5名、5団体を表彰した。

ア 市政功労者	谷 中 恵 子	津久井 健 吉		
イ 地方自治功労者	戸 澤 光 明	関 口 善 治	平 井	好
	備 仲 征 二	金 子 友 昭	神 山 勝 利	
	渡 邊 由美子	藤 岡 義 三	杉 原 弘 修	
イ 教育文化功労者	鈴 木 泉	大 橋 久美子	鈴 木 康 夫	
ウ 産業功労者	高 橋 秀 元	大 塚 千枝子	下 妻	清
	臼 井 登 雄	長 峰 信 明		
エ 保健衛生功労者	相 馬 英 人	星 野 亮 一		
オ 消防功労者	田 村 朋 幹	山 崎 尚 良	若 林 陽 一	
	津 吹 知 男	奈 良 浩 之	斉 藤 大 祐	
	吉 田 聡	神 山 正 博	神 山	敦
	齋 藤 達 也	池 澤 輝 幸		
カ 社会福祉功労者	池 澤 榮 子	日 笠 孝 子	大 和 恵	
	金 子 俊 子	青 木 栄 子	根 本 順 子	
	新 田 登久子	荻 原 良 生	福 田 光 子	
	石 川 眞由美	大久保 操	小 倉 恵 子	
	蓬 田 裕 子	高 橋 敏 子	金 田 カヅ子	
	池 田 光 子	佐 藤 美知子		
キ 篤 志 者	大 塚 恵美子	山 田 義 博	川 田 一 哉	
	千葉窯業株式会社	有限会社ならぶ	宮 坂 健	
	鹿沼相互信用金庫	牛 久 俊 夫	株式会社安田測量	
	株式会社サンユー			

2 広報活動

(1) 広報紙の発行と広報活動

ア 「広報かぬま」を月1回発行し、全世帯に配布した。

(ア) 規格 A4判 28ページ(月毎増減あり)

(イ) 部数 32, 100部

イ 「広報かぬま」のコンビニ配布を市内45店舗で実施したほか、スーパー配布を6店舗で実施した。

ウ 視覚障がいを持つ方等へ、「広報かぬま」を音訳し、カセットテープ及びデイジー(デジタル録音図書)に収録して配布した。

(2) 「財政状況」の公表

財政状況を分かりやすく編集し、令和5年7月号・令和6年1月号の「広報かぬま」で市民に公表した。

(3) 報道機関との連携

ア 各報道機関への情報提供は、広報紙等を送付するほか、各部(局)からの通報、資料送付などを積極的に行った。

イ 市長の記者会見を11回実施した。

ウ ラジオ・テレビ等関係機関へ広報紙等の送付による情報提供を実施した。
エ とちぎテレビ、鹿沼ケーブルテレビ、栃木放送、RADIO BERRY で新春特別番組を放送した。

3 広聴活動

(1) 個別広聴

市政についての意見・要望・苦情等、年間92件の相談を受け、それらを市政に反映させた。また、電子メールによる296件の意見・質問等に対応した。

(2) 市長とお茶べり かぬま夢談議

市長と少グループの市民が、お茶飲み話のような肩の凝らない和やかな雰囲気の中で、市の施策や将来像について対話を行った。

ア 8月・10月の2回実施した。

イ 参加者は、累計で24名であった。

(3) パブリック・コメント制度

政策形成過程における計画等の趣旨や内容などをあらかじめ公表し、市民に広く意見を求めることで市民の意見を計画等に反映させるため、パブリック・コメントを5件実施した。

(4) 世論調査

市民の生活や市政に対する意見や要望を把握し、今後の市政運営のあり方の基礎資料とするための調査を行った。

回収率は、40.1%であった。